

2013.11 Vol.427
関西大学通信

KANDAI

STYLE

表紙モデル
大募集!!
詳しくは裏表紙へ

特集

ユニークな数字がいっぱい!! 関大生なんでもMy記録

みんなで一緒に考えよう。【関大誌上教室】
関大生にとって“学園祭”とは?

【VIVA!学び場】環境都市工学部
「建築設計製図D」岡絵理子 准教授

【働く関大人】エンターテインメント業界/プロサッカー選手
ジュビロ磐田 金園英学さん

【なるほど・ザ・関大!】
関西大学 学園祭の歴史をひもとく

【今月のシンクさんアクトくん 関大生の友の輪】
法学部2年次生 半澤萌美さん

ユニークな
数字がいっぱい!!

関大生なんでも My記録

今回の特集では、関大生たちが持っているさまざまな記録、その数字にクローズアップ。誰にもまねできないすごい記録やその人ならではのオリジナルな記録など、ユニークな記録の数々をご紹介します。



1人

竹内 美沙保さん
(法学部1年次生)
たった1人の女子部長
なんです。
応援団リーダー部の演奏を初めて見たとき、心に衝撃が走り、すぐに入部を決めました。応援団リーダー部に入ったことで、物事をポジティブに考えられるようになったと思います。今後は女子とは思えないような迫力ある応援ができるようになりたいです。



50個

260万円

越後谷 年良さん
(人間健康学部4年次生)
アルバイトで260万円
ためました。
多い時にはコンビニエンスストアとトレーニングジム、塾3校と3人の家庭教師を掛け持ちして、大学の授業終了後、毎日アルバイトをしました。アルバイトを通して、さまざまな人と話す機会が増え、コミュニケーション能力を上げることができたことが良かったと思います。

中谷 悠大さん
(商学部2年次生)

一発芸を50個持っています。
人を笑顔にすることがうれしくて、「明日何か集まりがあるな」と思ったら、前の晩にネタを考えたりして、どんどん数が増えていきました。たくさんの人と仲良くなりたいので、覚えてもらうために、自己紹介のときに一発芸を披露することもあります。将来は人を笑わせる放送関係の仕事に就きたいですね。



528枚

1923年製

竹原 舞さん
(社会学部2年次生)
1923年製の楽器を
愛用しています。
「NPO法人ARTEMANDOLINISTICA」という社会人マンドリンオーケストラに所属し、「マンドラ」という楽器を演奏しています。音色にも歴史と深みを感じられる1923年製のオールド楽器は、私の一番の宝物。私が奏でた音色をたくさんの人に聴いてもらい、夢を与えられるように、これからもマンドリンを続けていきます。

後呂 翔太さん
(システム理工学部3年次生)
春学期だけでレポートを
528枚書き上げました。
機械工学科は実習も多く、レポートが比較的多い学科です。データや画像以外は手書きをするため、ペンだこができたほど。一生懸命取り組んだ自分でもベストなレポートが、1回で合格できたときは充実感があります。レポートを書くことで学んださまざまな知識を秋学期の研究につなげていきたいです。



500人

4カ所

山藤 沙弥さん
(化学生命工学部3年次生)
音楽仲間が500人以上
できました。
地球の縁を増やすことを目的とした国際的な吹奏楽バンド「Green Band」、関大の吹奏楽サークルなど、3つのバンドに所属し、アルトサックスを担当しています。サックスのおかげで初対面の人ともすぐに打ち解けられ、言葉の通じない外国の方々にも喜んでもらえて、音楽を続けてきて良かったなと思っています。

中村 大二郎さん
(政策創造学部4年次生)
日本の東西南北の端、
4カ所を巡りました。
今年の夏、民間人が行くことができる日本の最北端(北海道・宗谷岬)と最東端(北海道・納沙布岬)、最南端(沖縄県・波照間島)と最西端(沖縄県・与那国島)に行き、東西南北の端、4カ所全てを制覇しました。目的地まで飛行機や電車、バス、船などを乗り継いで、少しお金は掛かりましたが、とても有意義な旅ができました。

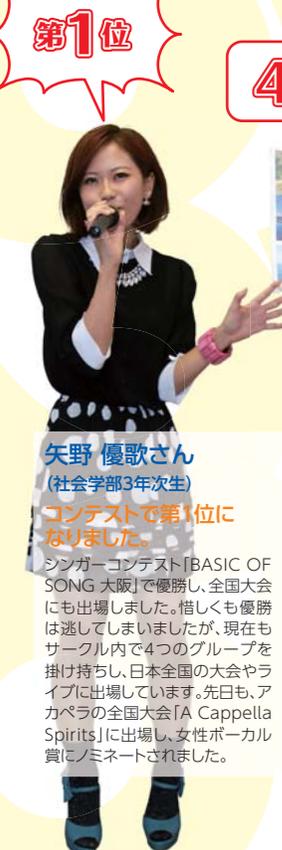


80人

福井 しほさん
(文学部2年次生)
1年間で80人の取材をしてきました。
文章を書くことが好きで、そのことが生かせるサークルを探していた時に「関大タイムス」と出会いました。取材をしていて感じるのは、関大には本当にすごい人がたくさんいること。これからも身近な学生を取り上げ、学内外に発信し、関大・関大生の素晴らしさを広く世間を知ってもらうことが私の目標です。

1200人

福岡 俊彦さん
(法学部2年次生)
1200人の前で演技しました。
3年前、母と妹に勧められてクラシックバレエを始めました。今年の7月に初めての発表会に出演し、お客さんの前で演技をしました。バレエを始めたころは、戸惑いもありましたが、ここまで続けてこられたことが今では自分の誇りです。今後も、母と妹の3人で一緒にバレエを続けていけたらと思っています。



第1位

47都道府県

矢野 優歌さん
(社会学部3年次生)
コンテストで第1位に
なりました。
シンガーコンテスト「BASIC OF SONG 大阪」で優勝し、全国大会にも出場しました。惜しくも優勝は逃してしまいましたが、現在もサークル内で4つのグループを掛け持ちし、日本全国の大会やライブに出場しています。先日、アカペラの全国大会「A Cappella Spirits」に出場し、女性ボーカル賞にノミネートされました。



15校

前住 崇介さん
(社会安全学部2年次生)
全国47都道府県を
旅行しました。
青春18きっぷや地元周辺の周遊バスなどを駆使して、6年間で47都道府県全てを巡りました。旅行の醍醐味(だごみ)は「五感」で楽めるところ。大学生になってからは、地形や街並み、地域を活性化するにはどうしたら、などの目標でも見るようになりました。次の目標は日本の世界遺産全てを訪ねることです。

鈴木 允也さん
(商学部3年次生)
小学校15校でボランティア
をしています。
児童文化実践サークル「うぶ」のメンバーとして、毎週水曜日に吹田市内15校の小学校のうち、1~2校でボランティアをしています。一緒にゲームをしたり、紙芝居などを披露して遊ぶのが主な活動で、披露するお話やおもちゃなどは、全て自分たちで創作するための事前の準備が大変ですが、子どもたちの笑顔を見ると苦労も吹き飛びます。

5/66チーム

藤原 寛啓さん(人間健康学部4年次生)(右)
高田 紗希さん(人間健康学部4年次生)(左)
黒田 隼太さん(人間健康学部3年次生)(下)
66チーム中5作品しか選ばれない特別賞を受賞しました。
準登録団体「創作ダンスPerformance Theater KAYMO(カイモ)」に所属し、日々汗を流しています。自分たちでテーマを決め、心や気持ちを皆で共有し、身体表現をしています。流れを作って動いてみてはまた原点に戻る...その繰り返しで、数分の作品を作るのに2カ月以上かかることも。このたび全国の強豪が出場する「アーティストックムーブメント・イントヤマ2013 第16回少人数による創作ダンスコンクール」に出場し、「食・感謝・命」をテーマとした「ルグト」で、全66チーム中5チームのみが選出される「特別賞」を受賞しました。他チームにはかかわらない技術力や、表現力で補った結果として、自分たちのダンス(表現)が認められた最高の瞬間でした。

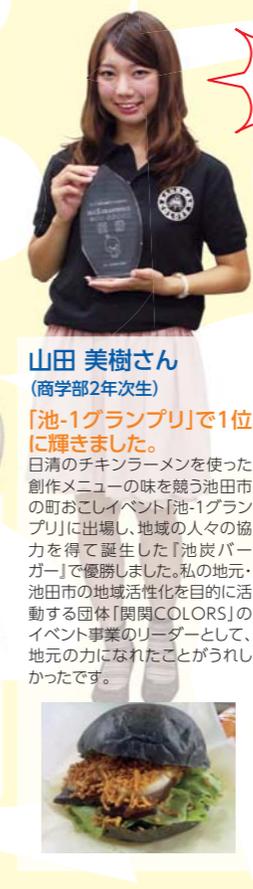


約20

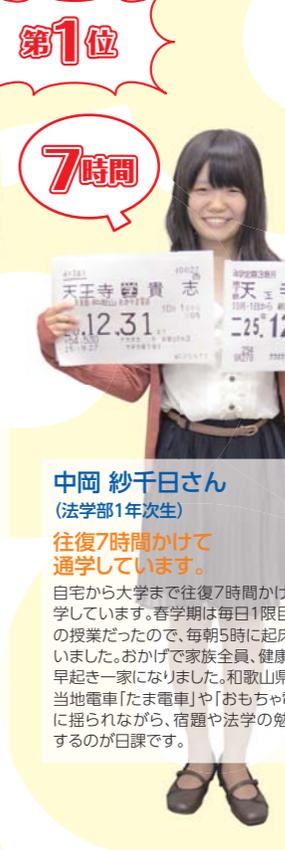
竹村 祐哉さん
(文学部4年次生)
約20の教育的事業活動に
参加しました。
文学部の初等教育学専修で教育について学びつつ、地元の小学校の総合育成支援員や、「ふくしまキッズ」のサポート、自然学校、母校中学校のバレーボール部のコーチなど、教育に関するさまざまな事業に従事しています。活動の中のいろいろな出会いや経験から、人としての幅が広がったと思います。

20冊

平崎 京さん
(外国語学部1年次生)
1カ月に20冊以上の本を
読んでいます。
物心がついたころには、毎週図書館で1度に10冊も借りるくらい本が好きになっていました。今でも新聞で紹介された面白そうな本は必ず読んでいますし、本を手にとると止まらなくて、気がいたら1カ月に20冊以上も読んでいます。次は新たな分野である、外国文学や明治・大正文学にも挑戦したいです。



山田 美樹さん
(商学部2年次生)
「池-1グランプリ」で1位
に輝きました。
日清のチキンラーメンを使った創作メニューの味を競う池田市の町おこしイベント「池-1グランプリ」に出場し、地域の人々の協力を得て誕生した「池炭バーガー」で優勝しました。私の地元・池田市の地域活性化を目的に活動する団体「関大COLORS」のイベント事業のリーダーとして、地元の方に力になったことがうれしかったです。



7時間

中岡 紗千日さん
(法学部1年次生)
往復7時間かけて
通学しています。
自宅から大学まで往復7時間かけて通学しています。春学期は毎日1限目からの授業だったので、毎朝5時に起床していました。おかげで家族全員、健康的な早起き一家になりました。和歌山県のご当地電車「たま電車」や「おもちゃ電車」に揺られながら、宿題や法学の勉強をするのが日課です。



第2位

岡本 一樹さん
(商学部1年次生)
オセロ世界大会で
第2位になりました。
昨年の11月、オセロの世界大会、ワールドオセロチャンピオンシップに出場し、第2位になりました。予選ラウンドは2日間で13ゲームを戦うので、精神的、体力的に非常に疲れましたが、3度目の挑戦で初めて予選ラウンドを突破し、決勝まで進むことができました。今年こそは優勝を目指して頑張ります。

関大生にとって“学園祭”とは？

11月1日(金)から4日(月)まで、千里山キャンパスで開催される2013年度関西大学統一学園祭。同じ関大生でも、学園祭を運営する実行委員会の学生は何を目標に準備に取り組み、学園祭に訪れる関大生は何を楽しみに来るのでしょうか。
 今回は、学園祭に対する関大生の意識について調査しました。

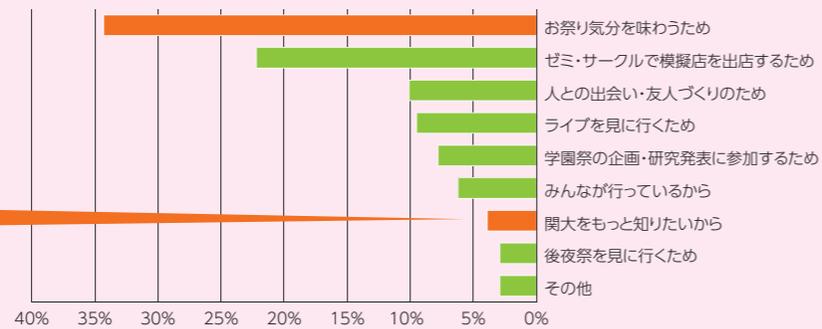
【アンケート期間：7月30日～9月9日 対象：関大生 回答者数：362人(男子157人 女子205人)】

関大生 (学園祭実行委員を除く)

学園祭実行委員

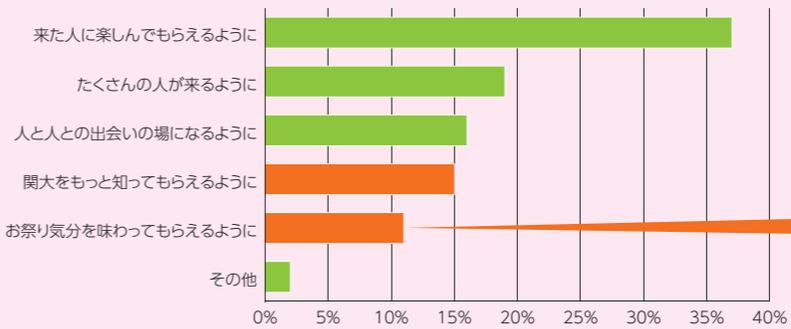
学園祭行く派

「関大をもっと知りたいから(知ってもらえるように)」の選択肢に対して、関大生と学園祭実行委員の間で大きな差が。



Q. 学園祭に行く目的は何ですか? (3つまで選択可)

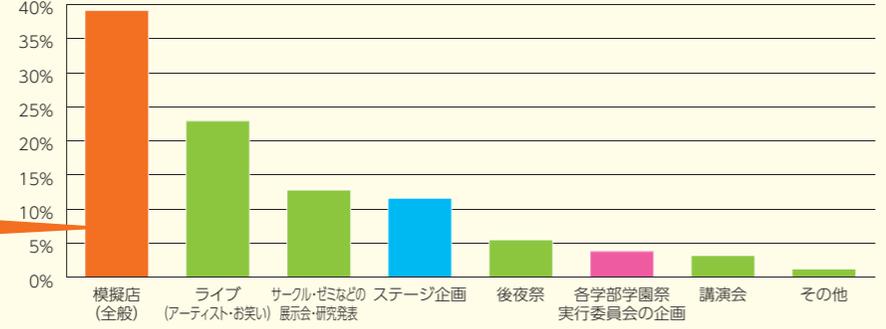
Q. 学園祭実行委員として、何を目標に取り組んでいますか? (3つまで選択可)



「お祭り気分を味わってもらえるように(味わうため)」の選択肢は、関大生の回答はダントツでトップなのにもかかわらず、学園祭実行委員の回答はあまり伸びず。

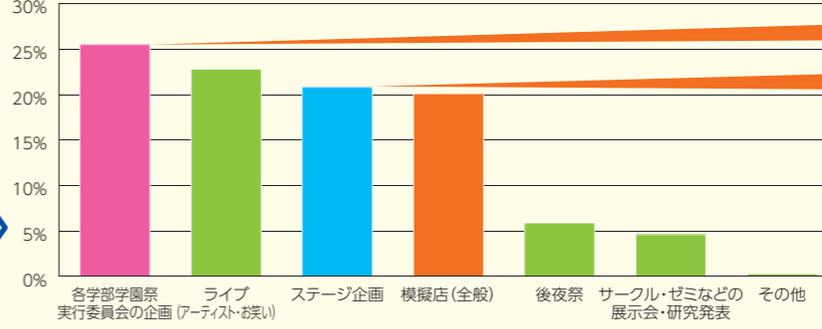
学園祭行く派

「学園祭」といえば「模擬店」がダントツ?!



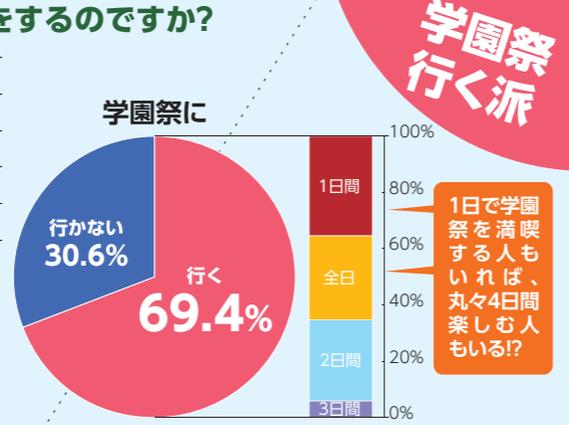
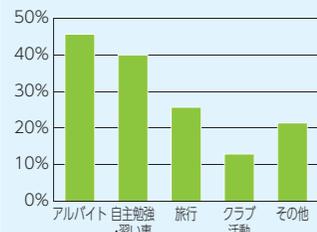
Q. 学園祭で楽しみにしているイベントは何ですか? (3つまで選択可)

Q. どのようなイベントに来てほしいですか? (3つまで選択可)

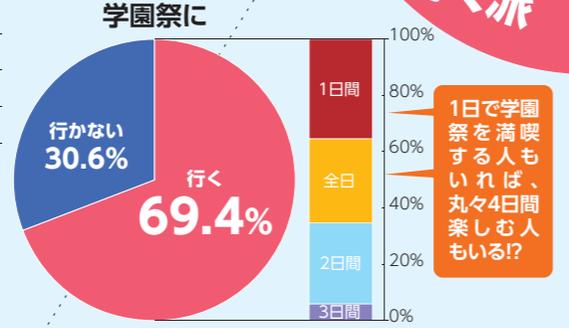


やはり「模擬店」は両者とも楽しみにしているイベントである一方、「ステージ企画」や「各学部学園祭実行委員会の企画」については、関大生からの支持があまり高くない様子…。

Q. 学園祭期間中は何をしますか?



Q. 学園祭には、何日間行きますか?



学園祭行く派

1日で学園祭を満喫する人もいれば、丸々4日間楽しむ人もいます!?

Q. どのようなイベントがあれば 学園祭が今以上に盛り上がると思いますか?

学部・学年	性別	関大生
法1	男	全員で何かのギネス記録に挑戦する。
文3	女	派手なパレードとかがあれば面白そう。
経3	女	スポーツ大会などのイベントがあれば、今以上に盛り上がるのではないかと思います。また、宝探しなどのイベントがあれば、ぜひ参加したいです。
人4	男	ライブなどのように見るだけでなく、統一学園祭に来てくださるさまざまな人がもっと参加できるようなイベントがあればいいかと思えます。動き回るようなものは子どもやお年寄り、体の不自由な方と差が出てしまうので、例えば誰でも気軽にできるじゃんけん大会(賞品あり)とかが期間中に何度かあれば面白いと思います。また、ペアやカップルで参加するイベントがあっても面白いと思います。

学部・学年	性別	学園祭実行委員
法2	男	模擬店のバトル企画や一斉タイムセール。
文2	男	関大の学園祭は、祭典実行委員の熱が高いがゆえに、実行委員の自己満足と言われることがあるが、学園祭の来場者も何か協力できる企画を作れば、関大生全体の学園祭になると思う。
経1	女	関大生と一般の方が合同で参加できるイベントを増やせば、もっと触れ合いが増え、どちらにも密接に絡んだ企画があれば、関大生、一般の人も参加しやすく盛り上がる!
外3	男	関大と一般の企業がタッグを組み、また地域ともしっかりと密接に絡んだ企画があれば、関大生、一般の人も参加しやすく盛り上がる!
安全2	男	後夜祭のように、昼間に来場者が1つのステージに注目できるステージを実施できればと思います。

学園祭実行委員長に聞きました!!



統一学園祭実行委員会 委員長
本屋敷 孟さん
 (法学部3年次生)

- ①今年の学園祭の見どころを教えてください。
 一各学部の学園祭実行委員会が実施する企画です。各学部に委員会が存在するというのは、他大学ではあまり見られません。今年は約700人が所属しており、サークルや学術研究会などが行う学生企画や研究発表を含めると、100近い多彩な企画がそろっています。企画を通して各学部の魅力を知ることができ、学園祭期間中はキャンパス内のどこに行っても楽しむことができます。
- ②今までの学園祭にはなかった、今年から始めた取り組みやイベントはありますか?
 一今までの学園祭は、実行委員のアイデアやスキルのみで企画の立案、実施を行ってききましたが、広いキャンパスにたくさんの方が来られるので、さらに企画の可能性を広げることができなかと考えました。そこで今年からは、関大生には気が付かない部分を、専門学校などの学外団体からアドバイスをいただき、自分たちの企画にフィードバックするように取り組みました。
- ③学園祭に来られる方々にメッセージをお願いします。
 一学園祭は、関大の13学部全ての魅力が詰まった4日間だと思います。また、関大生が持っている元気や個性を感じてもらって、素晴らしい時間を過ごしていただければと思います。また、学園祭のフィナーレを飾る後夜祭にも、ぜひお越しいただき、応援団の演舞や学歌斉唱など、最後まで学園祭を楽しんでいただければ幸いです。



OPINION OF PROFESSOR
 学生センター所長
社会学部 黒田 勇教授

学園祭の楽しみ、ダントツが「模擬店」、学園祭でどうして模擬店なんだろう。多くの大人は首をかしげます。お祭りには店が並びます。食べることも事欠いた時代、食べることは、祭りの喜びの表現だったのでしょう。いま模擬店は、仲間と一緒に

に何かを作る喜びを感じる手取り早い方法かもしれません。「僕作る人、私食べる人」で大いにコミュニケーションを深めてください。でも模擬店とともに、さまざまなイベントやシンポジウムも開かれています。そこに注がれている関大生のエネルギーもお忘れなく。
 実行委員は「来た人に楽しんでもらうため」に頑張っていると答えています。いまはやりの「おもてなし」でしょうか。今年のテーマは「Jump out! 関大大!!」とのこと。多様に彩られた関西大学のエネルギーがキャンパスから飛び出すという意味が込められているとか。学生たちのエネルギーが地域社会や世界へと飛び出していき、若い世代による新しい文化が開花することを願っています。

次号のテーマは…「関大生“アルバイト”事情」

大学生になると、多くの人が何らかのアルバイトを経験しているのではないのでしょうか? 「教科書を買うため」「食費のため」または、「洋服を買うため」「旅行に行くため」など、人それぞれさまざまな理由があると思います。ですが、アルバイトは、ただ単に「お金」を稼ぐ場だけでなく、将来社会に出て働くまでに経験することができる、「社会勉強」の場でもあります。そこで、次号の誌上教室では、関大生のアルバイト事情を徹底リサーチします。

11月号「関大誌上教室」アンケートプレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「関大生にとって“学園祭”とは?」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(10月29日に通知予定)。「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。



エンターテインメント業界 / プロサッカー選手



ジュビロ磐田 金園英学さん

島根県立正大学浜南高等学校出身
2011年文学部卒業

ファン・サポーターの笑顔のために、
チームの勝利に貢献したい。

静岡県の磐田市に本拠地を置くJリーグチーム・ジュビロ磐田で、プロサッカー選手として活躍している金園英学さん。加入初年度となる2011年シーズンには通算12得点を決め、2年目には日本代表に選出されるなど、ストライカーとして多くの期待を集めています。

「得点を決めてチームの勝利に貢献したい。その結果、ファンやサポーターの方が笑顔で喜んでくれることが何よりうれしいです」と語る金園選手。サッカーを始めたのは5歳のころで、地元や尼崎のクラブチーム、立正大学浜南高等学校を経て、関西大学に入学します。「大学時代は体育会サッカー部のホームタウン活動で、サッカースクール活動や清掃活動を経験しました。地元の人や子どもたちとの触れ合いを通じて、社会のことを学びました。プレイヤーとしてはもちろん、人間的にも大きく成長できた時期だと思います」。そんな金園選手がストライカーとしてのスタイルを確立したのも大学時代。関西学生リーグ1部では2年連続得点王に輝くなど、その実力がプロチームの目に留まり、ジュビロ磐田に加入することとなります。

順風満帆にプロ生活をスタートさせた金園選手ですが、2年目には大きなけがををするなど、挫折も経験しています。また、常に結果が求められるプロとしての厳しさを痛感することも多いそうですが、「大学時代からどんな困難にも逃げずに挑み続けることを大切にしてきました。チームや自分がどんな状況にあっても、常に勝利を目指して全力でプレーし続け、そしていつか大きなタイトルを取りたいです」と今後の目標を力強く語ってくれました。

ある1日の
スケジュール

8:30 クラブハウスに到着
練習開始まで体を
ウォームアップ
10:00 練習開始
12:30 練習終了
食後の後履程
14:30 トレーニング
15:30 全体練習
17:30 練習終了
ストレッチやマッサージ
など体をケア
18:30 帰宅



金園選手の華麗なプレーを支えるスパイクシューズとボール、そしてレガース。

FOOTBALL PLAYER



地域環境を読み取り、デザイン提案をする。

吹田市南部をフィールドとして地域環境調査を行い、より豊かな暮らしを実現するための地域デザインを提案します。

この授業は、建築を学ぶ学生たちが町を観察し、現地調査、データ収集によって、地域の課題を見だし、建築を通してその解決策を提案することを目的としています。まず授業の前半は、吹田市南部を対象に地域環境調査を行い、後半はスタジオ内で4~5人のグループをつくり、吹田市南部地域の課題を発見・分析し、地域デザイン提案を作成していきます。

地域環境調査では、学生たちが町歩きで発見した町の課題をより深く掘り下げていきます。例えば、この町の雰囲気はどこから生まれているのかを考え、住宅の外壁や塀の素材を調べたり、この建物はどのように地域とつながっているのかを知るために、開口部を調査したりします。こうして実際の町や人の暮らしを見ながら、建物や町を見る感性を養っていくのです。後半は、地域環境調査や地域の方々へのヒアリング調査などから、今、地域で抱えている課題をどのように解決すればより良い町ができるのか、どのような建築を取り入れれば、より豊かな暮らしが実現できるかといった提案をグループで考え、地域環境デザイン提案としてまとめます。提案書の作成に加えて、模型を作ってその環境を可視化することもこの授業の特徴の一つです。提案では、地域に実際に暮らしている方々に共感していたくことが何より大切です。専門的に語るのではなく、より分かりやすく、楽しく、魅力的に自分たちの提案を伝えることが求められます。

完成した提案や模型は、地域の施設で展示をしたり、地域の方々の前で発表をするなど、地域の人たちに直接提案する機会が与えられます。学生にとっては、一般の方の感想や意見に触れることができる貴重な経験となっているようです。



中能里英さん(3年次生)

グループワークでは、自分の意見を主張することの大切さを学びました。川沿いに緑地帯を造るという提案だったのですが、みんなのアイデアや意見を戦わせた結果、全員が納得できる作品に仕上がったと思います。



二宮健太さん(3年次生)

初めてのグループワークを通じて、たくさんのことを学べたと思います。意見が対立したり、難しいことも多かったのですが、みんなで協力して一つのものを作り上げる喜びを知ることができました。



環境都市工学部 岡絵理子 准教授

建築もまちづくりも、さまざまな専門性を持った人たちが、お互いを信頼して取り組みます。その中で、自分がどのような役割を担うことができるのかということを確認してほしいですね。この授業が自分自身の専門性をどの分野で高めていくのかを考えるきっかけになってくれればと思います。



関西大学 学園祭の歴史をひもとく

今年で第36回を迎える関西大学統一学園祭。現在では4日間にわたってさまざまなイベントが開催されていますが、現在のような開催形態に至るまでには、たくさんの学生や教職員たちの努力がありました。そこで今回は、関西大学統一学園祭の歴史をひもといていきましょう。

第1回大学祭は運動会だった!?

関西大学で初めて学園祭が開催されたのは、1926年(大正15年)10月23日・24日のことでした。当時、キャンパス内に大運動場とクラブハウスが新設され、これを記念して運動場開場式と創立40周年記念式、大学昇格式、そして第1回大学祭が同時に開催されたのです。

第1日目には、創立40周年記念式と昇格記念式が、第2日目には運動場開場式が行われました。そして運動場開場式の終了と同時に記念陸上大運動会がスタート。会場は押し寄せた観衆で満員になるほどだったといえます。プログラムは100メートル競走や400メートル競走といった一般競技の他に、二人三脚やパン食い競走のようなゲームも含まれ、スタンドからは大きな声援が送られたそうです。



第1回大学祭の様子

※写真は年史編集室蔵

大学祭の呼び物となった南洋踊り

大運動会のさまざまなプログラムの中でもひととき注目を集めたのが、予科生たちの仮装行列でした。高足のピエロを先頭に、罪人、判事、検事、弁護士が続く予科3年生の陪審法廷の仮装、書生風俗の変遷を絵巻物風にした予科2年生の行列。そして一番元気が良い予科1年生70人は、南洋の先住民に扮して行列しました。右手にやり、左手に骸骨を白く染め抜いた盾を持ち、半裸の姿で踊り狂うという、これが後に大学祭の呼び物となった南洋踊りの始まりでした。

こうして大成功のうちに第1回大学祭は幕を閉じ、それ以後毎年開かれ、市民も楽しみにする関大名物となりました。当時の大学祭は学生や教職員にとって感慨深かったようで、大学祭を開催した一番の目的は「学校の名を宣伝するためだ」という記述も残されています。



仮装行列の様子

↑学生たちによる南洋踊りの様子。関大前にあった銭湯の灰を、体中に塗りたくり踊った。



※写真は年史編集室蔵

千里祭を経て統一学園祭の誕生へ!

1926年(大正15年)にスタートした大学祭。その後、1946年(昭和21年)に文化祭が、1951年(昭和26年)に学術研究祭が始まりました。そして1955年(昭和30年)ごろから、3つの行事を統合し、新機軸を打ち出そうという意見が学友会で議論され、1961年(昭和36年)に執行部は統合実施に踏み切ります。新行事の名称を学生から募った結果、「千里祭」に決まりました。

第1回千里祭は、1961年11月6日から12日まで、千里山キャンパスを中心に、前夜祭、文化祭、学部祭、雄弁祭、学研祭、体育祭の6部門祭と展示会に分かれて開催されました。以後1968年(昭和43年)まで開催された千里祭。学園紛争による中断を経て、1970年(昭和45年)から学部別に学園祭を開くようになり、1977年(昭和52年)には、各学部実行委員会とスポーツ週間実行委員会、応援団による合同祭が催され、翌1978年(昭和53年)から各サークルも1つにまとめた、統一学園祭が誕生したのでした。



現在の統一学園祭





法学部2年次生

半澤萌美さん

講演会場をお客さんでいっぱいになりたい。



法学部祭典実行委員会

法学部祭典実行委員会には、約90人の実行委員が在籍。活動内容は、企画や講演などの立案・実行、模擬店の管轄や広報活動など多岐にわたります。さまざまなイベントで法学部ならではのカラーを打ち出して、統一学園祭を盛り上げていきます。

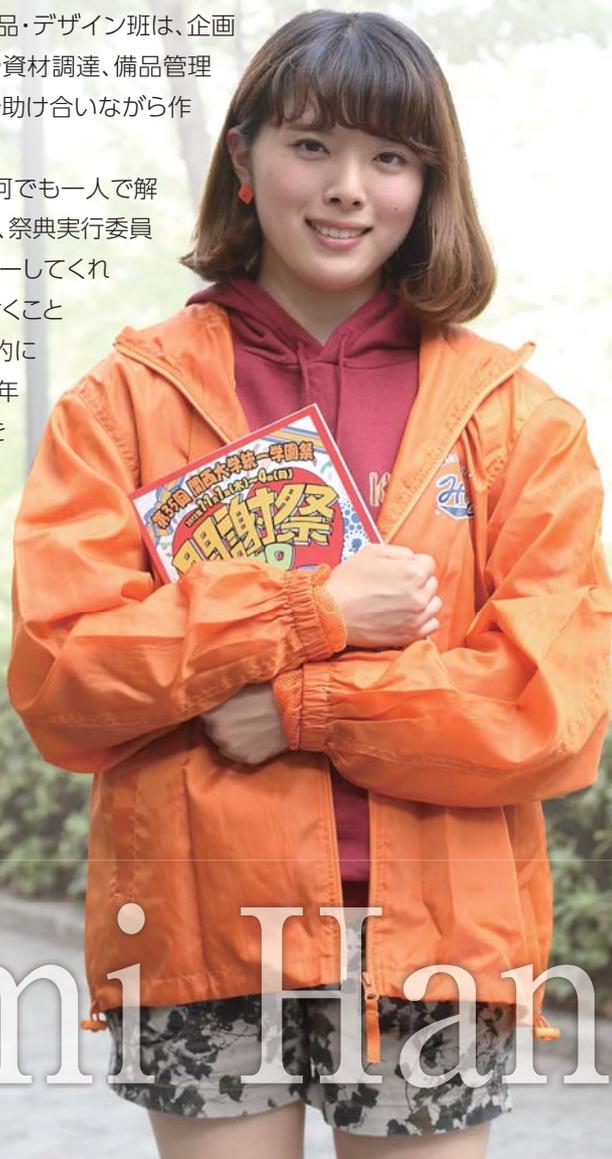
今回は、半澤さんからのご紹介で「BRIGHT UP KANDAI St.2013」実行委員会の永田慎治さん(外4)が登場。お楽しみに!

関西大学で行われる最も大きなイベントの一つである関西大学統一学園祭。その企画や運営、管理などを行う学園祭実行委員会は、各学部の学園祭実行委員会と課外活動団体の有志で構成されたサークル祭実行委員会とで成り立っています。半澤萌美さんは法学部祭典実行委員会に所属し、タレントや芸能人などの講演を企画・運営する講演局で活動しています。

「講演局では、タレントや芸人さんなどの講演の企画から始まり、出演者の選定、出演交渉、宣伝、チケット販売、予算管理など、仕事は多岐にわたります。毎日忙しいですが、物事を一から企画・実行するのは貴重な経験なので、とても楽しいですね」。半澤さんは主に備品関係の業務を任されていて、1年次には宣伝用の看板やポスターの制作を、今年は講演局内の備品・デザイン班に所属しています。備品・デザイン班は、企画や講演に向けて作業する前の準備や資材調達、備品管理などがメインとなる仕事で、みんなで助け合いながら作業を進めているそうです。

「これまではあまり人には頼らず、何でも一人で解決してしまうことが多かったのですが、祭典実行委員会に所属したおかげで、周りでフォローしてくれる仲間がいることの素晴らしさに気付くことができました」と、この1年半で人間的に大きく成長できたという半澤さん。今年の統一学園祭での目標は、チケットを全て完売させることだそうです。

「満員の会場で、出演いただいたタレントさんに気持ちよく講演を行ってほしいですし、周りの人たちも期待してくれているので、その思いに応えるためにも、今年は全てのチケットを完売させてみせます」と力強く語ってくれました。



Moemi Hanzawa

学部・研究科トピックス

法学部 / 法学研究科

法学部祭典実行委員会企画!

法学部が唯一公認している学生団体「法学部祭典実行委員会」が、本年度も本学の学園祭を盛り上げます。11月2日(土)、3日(日)10時～16時(両日共)で開催予定の「KINGDOM ADVENTURE ～呪われし王冠～」では、「楽しみながら法律、政治を学んでもらおう」という趣旨で、ストーリー仕立てのミニゲームや法律×クイズが執り行われます。法学部生はもとより、法律に興味がある方は奮ってご参加ください。参加費は無料。事前申し込み等も不要です。(法文オフィス)

文学部 / 文学研究科 東アジア文化研究科

ローマで院生の国際フォーラムを開催

東アジア文化研究科は次世代グローバル人材育成に力を入れ、特に多言語による発信と国際的学術交流を推進しています。その一環として4年前からローマ大学との国際フォーラムを開催してきました。今年も9月5日、6日の両日、ローマ大学において本学から総勢約30人が参加し、盛んな討論・交流が行われました。(東アジア文化研究科 内田慶市教授)



経済学部 / 経済学研究科

経済学への高い関心が伺えました

サマーキャンパスにおいて「企業の価格戦略」というテーマでミニ講義を行いました。「なぜ映画館は大人と子供の料金に差をつけるのか?」、「なぜヘビーユーザー向けの携帯電話料金は基本料金が高く通話料金が安いのか?」など、企業のお客によって価格に差をつけて売る行為について解説しました。立ち見が出るほど予想以上に多くの方に聴講していただきました。講義後も講義の内容や安倍内閣の経済政策について熱心に質問をする学生もいて、経済学や現実の経済への関心の高さが伝わってきました。(学生主任 石井光准教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部 / 商学研究科

ヨーク大学に移ったBestA

商学部独自の留学プログラムBestAが、8月末より英国ヨーク大学で開始されました。ショップでのインタビューやケーススタディ、トラベルプロジェクトなど、ビジネス英語に特化したプログラムです。毎日のハードな学習で、学生の英語力が伸びていくのがはっきりと実感できます。(小井川広志教授)



社会学部 / 社会学研究科

地域活性化現地合宿を行いました

社会システムデザイン実習参加者を中心にした、四万十町・四万十高校(高知県)との合同地域活性化プログラムの現地打ち合わせ合宿を9月10日～15日に実施しました。このプログラムは、山間部の活性化のために、インターネットを活用して関西大学がどのように貢献できるかを探る試みです。現地の方々のご厚意の下、最終日に廃校跡の宿舎で深夜まで議論を続けるなどして大きな成果が挙がりました。これからも、合宿で練り上げたプランの実現のために活動を続けていきます。(学部学生相談主事 高瀬武典教授)

政策創造学部 / ガバナンス研究科

論文甲子園を実施しました

学部主催で、全国の高校生から論文などを募集して審査する「政策創造の甲子園」に今年は約270編の応募がありました。今年で4回目。入賞したのがきっかけで本学部に進学してきた学生もすでにおり、今回も力作ぞろいです。テーマは震災、まちづくり、国際平和など多岐にわたりますが、今年は消費税をテーマに選ぶ高校生も結構多く、彼らの文章の端々に時代が映っています。(深井麗雄教授)

外国語学部 / 外国語教育学研究科

個の努力と協同の力で完走を

11月です。いま、あなたは何を優先していますか。学年暦では、学園祭や各種大会の準備、卒研、修論研究、就活、Study Abroadなどの準備でしょうか。私の周りの皆さんは、自身の卒研や修論研究の課題と必死に取り組んでいます。孤独な中に身を置かざるを得ない作業や時期があるのも事実ですが、教員やピアとの討論・対話を積極的に活用すれば、思考や理解が深まり、研究力や協同作業力が養成される絶好の機会となります。緩急をつけて完走してください。(望月通子教授)

人間健康学部

人間健康研究科(仮称)の開設へ

2014年4月に人間健康研究科(仮称)〔修士課程・設置認可申請中〕の開設を予定しています。本研究科では、「人間にとって真に必要な健康のあり方」の追求を理念として掲げ、「health」と「well-being」をキーワードに、身体的な「健康」と社会・文化的な「健幸」を一体として捉えた教育と研究を行います。修士後の進路としては、高度専門職としての健康運動・体育スポーツ指導者や、地域福祉の視点をもって健康増進を考える研究者などが想定されます。(森仁志准教授)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 / 理工学研究科

理工系3学部へようこそ!

9月9日、関西大学北陽中学校との連携プログラムを実施しました。中学2年生約120人が理工系学部の研究室を訪問して実験を体験し、教員や大学生との交流を行いました。最初のうちは緊張していた生徒たちも、最後は楽しく実験に取り組み、理工系の学びを体験しました。



第4学舎リニューアル

第4学舎では、昨年度から建物のリニューアルや改築の工事が続いています。本年4月には2号館教室棟のリニューアル工事が完成し、学生の皆さんは、この春学期から新しい教室で新鮮な気持ちで講義を受けられたことでしょう。さらに、この8月より第2実験棟の改築工事が始まり、元建物は夏期休業期間に解体され、来年9月には新しく生まれ変わります。1～3年次生が化学実験を行う教室や、4年次生・大学院生が研究活動を行う研究室が整備されます。また、化学実験に不可欠な実験廃液を処理

する最新の設備も設置されます。工事期間中は、代替教室のため手狭となりますが、実験棟改築が完了すれば、ますます勉強・研究に集中ができます。成果が挙がることを期待します。(システム理工学部入試主任 松本亮介准教授)



Attention 大学からの重要なお知らせ

図書館の蔵書検索システム「KOALA」がリニューアル!

統合検索

本学図書館の蔵書に加え、他大学の所蔵情報、本学が契約しているデータベースなどを同一のインターフェースからワンストップで検索することが可能になりました。同じ検索窓から、タブを切り替えることで、図書、論文の検索をそれぞれ行うこともできます。

ファセットブラウジング

検索結果一覧を、件名、著者、出版者などさまざまな切り口(ファセット)で絞り込むことができるようになりました。

キーワードのサジェスト機能

検索語の入力時に目的の文字列を入力すると、その文字で始まるキーワードが自動的に表示されます。この機能により、文字列入力の省力化が図れるとともに、次の検索につながるヒントがサジェストされます。

スマートフォン対応

スマートフォンからのアクセスには、スマートフォンでの操作に適したインターフェースが表示されるようになりました。



この他にも、新機能が盛りだくさん!新たに追加された機能を試してみ、存分に情報検索に活用してください。使い方で不明な点は図書館の各カウンターまでお問い合わせください。

専門職大学院トピックス

会計専門職大学院

間もなく11月募集の出願スタート

会計専門職大学院では、11月24日(日)に入学試験を実施します。出願期間は11月5日(火)～11月12日(火)です。今年度より、日商簿記一級など高度な資格を取得している方を対象にした給付奨学金制度の導入を行うとともに、学内進学試験においては自己推薦方式を導入しました。このように簿記・会計の未修者であっても、高度職業会計人に関心を持っている皆さんにも門戸を開いています。ぜひ会計専門職大学院への進学を検討していただきたいと思います。なお、入試等の詳細については、会計専門職大学院のウェブサイトをご覧ください。(http://www.kansai-u.ac.jp/as/) (入試主任 中村繁隆准教授)



併設校トピックス

関西大学北陽高等学校・中学校

総合体育館リニューアル!

旧体育館の老朽化に伴い、昨年6月より着工していた新体育館の建て替え工事が、9月4日に竣工し、「関西大学北陽高等学校・中学校総合体育館」として生まれ変わりました。総合体育館は鉄骨造り4階建て、延べ床面積7,935平方メートルの規模を誇り、1,300人が収容できる講堂を兼ね備えたアリーナ、25メートルの室内温水プール、柔道場、武道場、トレーニングルーム、部室などを完備しています。新幹線や阪急京都線からの見え方にも配慮されたデザインが施され、本校の校風である「文武両道」を体現する新たなシンボルとして期待されます。(校長 鈴木清士)



兵庫県災害対策センターにおける研修

社会安全学部 / 社会安全研究科

社会安全体験実習Iを実施

1年次必修科目「社会安全体験実習I」を8月上旬に実施しました。1日目に三木市広域防災センターや兵庫県庁災害対策センターを見学。その後、宿泊先である高槻キャンパスの高岳館にてグループワークを行いました。2日目はミュージックキャンパスに戻り、グループごとに課題ポスターを作成しました。(亀井克之教授)

関大トピックス

第36回関西大学統一学園祭を開催します

11月1日(金)～11月4日(月)の4日間、千里山キャンパスで、第36回関西大学統一学園祭を開催します。近年、学園祭の規模が縮小する傾向にある中で、関西大学では4日間にわたり開催。そして模擬店や研究発表、著名人による講演会など、さまざまなイベントが催されます。

第36回関西大学統一学園祭のテーマは、「Jump out! 関彩大!!」。「Jump out!」には、関大の枠を超えて地域との交流をするという意味と、これまでの関西大学統一学園祭を超えていく、という2つの意味が込められています。「関彩大」は、各学部の特徴を取り入れた彩りある企画や関西大学の特色のものを表現しています。

関大生の個性を、全身で感じることができる第36回関西大学統一学園祭、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



昨年の様子

博物館実習展を開催します

関西大学博物館では、博物館学課程の集大成である博物館実習展を11月10日(日)～15日(金)まで、博物館第2展示室で開催します。開館時間は10時～16時まで。

6班に分かれた48人の実習生が、それぞれが設定したテーマに沿って、資料の収集・借用から展示まで全ての作業を協力して行います。

各テーマは、「刺しゅう ～祈りがもたらすししごと～」[茶器 道具から見る茶の湯][切手から覗く日本 一切手ブームと高度経済成長期一][子どものおもちゃ ～1970年代を見る～][いつまでも健康に ～今も昔も変わらぬ思い～][お風呂屋さんへ行こう]。展示資料を集めるために企業や博物館などと直接交渉をし、何度もミーティングを繰り返し、課程で学んだ知識を駆使して自分たちの展示会を作り上げた成果をぜひご覧ください。



各班の学生がデザインしたポスター

第33回「地方の時代」映像祭2013を開催します

11月16日(土)～22日(金)の7日間にわたり、吹田市、関西大学、日本放送協会、日本民間放送連盟、日本ケーブルテレビ連盟の5者が共同主催する第33回「地方の時代」映像祭2013が千里山キャンパスで開催されます。第33回の今年は「地域が伝えたもの、伝えていくこと」をサブテーマに掲げ、「市民・学生・自治体部門」では、関西大学の映像制作実習の「マイホーム」が入選作品に選ばれるなど、全国各地から数多くのドキュメンタリー作品やユニークな映像作品が集結。皆さんもぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



昨年の贈賞式の様子

関西大学ウェブサイトがリニューアル

11月5日(火)、関西大学ウェブサイト(<http://www.kansai-u.ac.jp>)がリニューアルします。スマートフォン、タブレットなど、さまざまなデバイスで最適な表示を行う「レスポンスWebデザイン」に対応したサイトに変わります。また、既存のサイト構成を生かしつつ、デザインの改修、画面幅や文字フォントの見直しなど可読性の向上を行い、Facebook「いいね」ボタンの設置など新たな機能を追加しました。日本語・英語サイトは11月5日(火)、簡体字・繁体字・朝鮮語サイトは11月中旬以降順次公開予定です。新しくなった関西大学ウェブサイトをご活用ください。



■スマートフォン ■タブレット

関大人 四方山話 ◆「紹介できない映画」 総合情報学部 植原亮 准教授



プロテクトともいえる極端な状況をあえて想定することで思考を深める。哲学ではこれをよくやる。その代表が「懷疑論」と呼ばれるもので、例えば「目の前に広がる世界は、実は偽りの世界なんじゃないの」と問いかける。

講義でこうした話をするときに便利なのが映画だ。このテーマで最も有名なのが「マトリックス」だろう。キアヌ・リーブス演じる主人公は、ある時自分の生きてきた世界が、本当は脳に接続されたコンピューターが見せる仮想世界にすぎない

ことを知る...というふうには進む。「もしかして僕らがいるこの世界も同じかもね」と、懷疑論の現代版としてこの映画を紹介する。当たり前だと思っていた世界の見方に亀裂が入る瞬間である。

問題が一つ。同じテーマで面白い映画は他にもあるのに、講義で紹介できないのだ。「この映画でも実は主人公は偽りの世界を見せられているんですよ」なんて、物語の核心に触れてしまったら台無しである。何か妙案はないでしょうか。

編集後記

今回の「関大誌上教室」のアンケート、学園祭に行かない派が約30%、また、そのうち約45%の方がアルバイトをすると回答しているのは少し寂しい気がしました。年を取れば取るほど思い出や経験は貴重だと感じると思いますので、目の前のお小遣いより、思い出になる「祭」を優先してみるのも良いのでは?さらに、イベントを開催する側になれば、その思い出はより充実するものと思います。次の機会にはぜひ面白い企画を挙げ、積極的に参加してみてください(広報委員・環境都市工学部助教 豊田政弘)

今月の表紙: 河上麻里衣さん(外3)、福留健太郎さん(文2)、田島大暉さん(社3)、李勇樹さん(商3)、金城寛貴さん(商3)、鈴木允也さん(商3)、高元瞳さん(文4)、南映里さん(文4)、及川慧さん(化生4)、福本直弘さん(法3)、家田匠さん(商2)



KANSAI Univ. NEWS

発行日: 2013年10月29日(年9回発行)
発行: 関西大学広報委員会
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
電話: 06-6368-1121(大代表)

表紙モデル大募集!!

広報課では、『関大通信』の表紙を飾ってくれる関大生を募集しています。次回は、2014年5月号・6月号・7月号の表紙写真撮影会を12月上旬に予定しています。個人でも、グループ(ゼミ・サークル・クラブなど)でもOK!興味のある人は、学籍番号・氏名・携帯番号を[tsushin@ml.kandai.jp]まで送信してください。

